

救急災害医療への取り組みの一環で参画

「ドローンを用いた高品質医療物流サービスの実現に向けた実証試験」

KONOIKE グループの九州産交運輸（株）が診療材料の陸路輸送で協力

鴻池運輸株式会社(本社：大阪市 中央区、代表取締役兼社長執行役員 鴻池 忠彦、以下 鴻池運輸)のグループ会社九州産交運輸株式会社(本社：熊本県熊本市、代表取締役 吉田 浩一、以下 九州産交運輸)は、熊本赤十字病院(院長：平田 稔彦)が主体となり2020年2月26日に熊本県阿蘇郡で実施する「ドローンを用いた高品質医療物流サービスの実現に向けた実証試験^{*1}」に参画します。

*1【別紙ご参考資料】ドローンによる高品質医療物流サービスの研究開発に関する実証について

今回の実証実験は、熊本県で局地的豪雨により災害が発生し、河川、道路が寸断された設定で、孤立した病院へ医療資機材および血液等をドローンで搬送するというものです。当実験で九州産交運輸は、車両搬送が可能な地点までの診療材料の輸送を担当します。

鴻池運輸は、昨今多発する地震や台風などの自然災害発生時に、KONOIKE グループで行っている物流、医療、空港業務などを通じてさまざまな社会インフラの緊急支援対応に取り組みつつ、緊急時対応の知見を重ねてまいりました。特に医療現場近くで多くの事業活動を行っている KONOIKE グループが果たすべき救急災害医療への貢献は、非常に重要なものと考えています。今回、これまで経験のないドローンを活用した救急災害医療の取り組み研究を進める方々の一員になることで、新たな課題認識や知見の習得を図り、さらなる体制整備や、日常の予防・保全となる新たなビジネスモデルの構築、サービスの開発につなげていきたいと考えています。

(報道関係者様お問い合わせ先) 鴻池運輸(株) 岩切、古屋、竺原 tel:03-3575-5753

■ 鴻池運輸株式会社の概要 (<https://www.konoike.net/>)

KONOIKE グループは、物流の枠を超え、製造、医療、空港業務などを通じ、社会課題の解決と革新に挑戦し続ける、プロフェッショナルサービス集団です。

商号	鴻池運輸株式会社 ※東証1部	代表者	代表取締役兼社長執行役員 鴻池 忠彦
大阪本社	大阪府中央区伏見町4-3-9	東京本社	東京都中央区銀座6-10-1
創業	1880(明治13)年5月	会社設立	1945(昭和20)年5月30日
資本金	1,723百万円 (2019年3月31日現在)	従業員数	約25,000名(連結) (2019年3月31日現在) ※臨時雇用者数を含む
売上高	294,158百万円(連結、19年3月期)	営業利益	10,976百万円(連結、19年3月期)
事業内容	請負サービス(製造業界向け、サービス業界向け)、物流サービス(国内物流、国際物流)		

令和2年2月12日

報道機関各位

熊本赤十字病院
日本医科大学千葉北総病院
東京電機大学
芝浦工業大学
イームズロボティクス株式会社
トッパン・フォームズ株式会社
鴻池運輸株式会社（九州産交運輸株式会社）
株式会社アルム
株式会社 KKT イノベート

ドローンによる高品質医療物流サービスの研究開発に関する実証について

熊本赤十字病院（院長：平田稔彦）は、東京電機大学および日本医科大学千葉北総病院が主幹する救急・災害時ドローンプラットフォームネットワークと、ドローンを用いた高品質医療物流サービスの実現に向けた実証試験を下記のとおり実施することといたしました。

熊本赤十字病院および救急・災害時ドローンプラットフォームネットワーク（DPN）は、ドローンを用いた高品質医療物流サービスモデルを構築し、国内外の医療サービスへのアクセス改善に貢献します。

記

日 程 令和2年2月26日（水）午前11時を予定
（当日の準備の進捗によっては、開始が30分程度早まる場合がございます）

場 所 （現地拠点）小国町立小国小学校駐車場（熊本県阿蘇郡小国町宮原172-1）
（目的地）小国公立病院（熊本県阿蘇郡小国町大字宮原1743）
（対策本部）熊本赤十字病院（熊本県熊本市東区長嶺南二丁目1番1号）
※現地（小国町）と対策本部間はインターネットによる画像中継

内 容

（1）医療ドローンの運行（小国町）

現地拠点（小国小学校横駐車場）から目的地（小国公立病院）まで、完全自動制御型ドローンを用いて医療物資（診療材料・血液等）を輸送し、医療ドローンの位置情報、輸送ボックスの温度、振動、受取確認情報等の把握を試みる。

（輸送ボックスに関する技術協力：トッパン・フォームズ株式会社様）

（2）ハイブリッド車・燃料電池車による現地拠点への電力供給（小国町）

現地拠点におけるドローン基地局の運用に際して、ハイブリッド車、燃料電池車による電源供給を行う。（技術協力：トヨタ自動車九州株式会社様）

（3）D24H（災害時保健医療福祉活動支援システム）を用いたドローンの運行状況把握（熊本赤十字病院）

対策本部（熊本赤十字病院）では、D24Hを用いて被災状況およびドローン等の位置情報把握を試みる。（技術協力：芝浦工業大学様）

ご取材

現地拠点（小国小学校横駐車場）、目的地（小国公立病院）、対策本部（熊本赤十字病院401会議室）の3ヶ所での取材が可能です。

事前準備のため、取材を希望される場所を熊本赤十字病院企画開発課広報係に、2月21日（金）までにご連絡いただきますようお願い申し上げます。

（熊本赤十字病院企画開発課広報係）

氏名 田中 嘉一（たなか よしかず）・陶 真怡（とう まい）

電話 096-384-2111（内線6285）

FAX 096-384-2516

メール publicist@kumamoto-med.jrc.or.jp

（参考）

【熊本赤十字病院について】

熊本赤十字病院は、2017年、国内外での災害対応や、途上国における医療アクセス改善のため、ドローンを用いた遠隔医療・医薬品搬送サービス「Ambulance Drone 構想」を提案し、その実現に向けて国内外の研究機関等と共同研究を進めています。

【救急・災害時ドローンプラットフォームネットワーク（DPN）について】

2015年に東京電機大学、日本医科大学千葉北総病院、が中心となって設立。

救急医療および災害医療現場において、ドローン（航空・陸上・水上）を使用し、医療情報収集・使用（ハザードマップなどを活用した情報の可視化）、医療資器材搬送などの後方支援活動を行うことを目的とし、実証活動を通して、全国に散在する関連した医療機関・研究機関との連携を行なうことで課題解決を行い、国内研究全体の効率化活動を支援します。

【イームズロボティクス株式会社について】

災害救急用ドローン・防滴化された産業用ドローンの他、無人車両・無人船・ディープラーニング開発など、多用途にわたる医療・農林水産・物流・防災・警備・建設土木向けの自律モビリティの開発と販売、講習を行っています。

イームズロボティクス株式会社は、都市部での空洞化、高齢化の進む地方・人口減と経験者不足、そういった社会的課題解決のため、社会に必要とされる「道具」としてのソーシャル・ロボティクス企業を目指します。

【株式会社 KKT イノベートについて】

くまもと県民テレビの番組制作を全般的に担い、映像制作を中心としたコンテンツ創造企業。ドローンによる空撮（映像/点検/測量）をはじめ、業務用マイクロドローンによる空撮（映像/点検）や、産業用ドローンの販売・講習・サポート、国土交通省 HP 掲載の管理団体として『九州ドローンスクール』による JUIDA 認定講座を行っております。

【鴻池運輸株式会社について】

鴻池運輸株式会社は、「『人』と『絆』を大切に、社会の基盤を革新し、新たな価値を創造します」という KONOIKE グループの企業理念に基づき、昨今多発する地震や台風などの自然災害発生時に、KONOIKE グループが提供する物流、医療、空港業務などのサービスを通じてさまざまな社会インフラの緊急支援対応に取り組みつつ、緊急時対応の知見を重ねてまいりました。特に医療現場近くで多くの事業活動を行っている KONOIKE グループが果たすべき救急災害医療への貢献は、非常に重要なものと考えています。

KONOIKE グループの概要は (<https://www.konoike.net/>) をご覧ください。

【株式会社アルムについて】

株式会社アルムは、「すべての医療を支える会社 (All Medical)」として、「Shaping Healthcare」をコーポレートメッセージに掲げ、医療・福祉分野におけるモバイル ICT ソリューションの提供をしています。また、医療関係者間コミュニケーションアプリ Join を始めとした医療 ICT 事業では、グローバル展開に積極的に取り組み、日本発の医療 ICT 企業として 18 カ国へのソリューション提供を行っています。

詳しくは、<https://www.allm.net/> をご覧ください。